宍粟市社協 千種支部 かわら版

わく！湧く！ちくさ

創　刊　号

編集・発行　千種支部地域福祉推進委員会
宍粟市千種町室1060−1
電　　話　0790−76−3390
F　a　x　0790−76−3649
（宍粟市社会福祉協議会千種支部）

「わく！湧く！ちくさ」発刊によせて

千種支部地域福祉推進委員会委員長
宍粟市社協副会長
堂場　政彦

初めに、宍粟市社会福祉協議会に随分とご支援を頂いておりますことおお礼を申し上げます。

私は、平成21年度から宍粟市社協の副会長としてお世話になっていますが、この間、「社協が遠くなった」という声を数人の方からお聞きしました。

合併以前に旧千種町社協で発行されていた広報紙では、紙面に知人の名前を見つけ、あれやこれやと思いが巡ったものです。

しかし、合併以降の市社協広報紙は、行政区域が広くなった関係で知らない土地のことや、知らない人の記事が多くて、読んでも活字が素通りしてしまうのは、私だけではないようです。

そこで、「旧町を単位とし、社協に関わるローカルニュース中心の情報紙を発行しよう」というのが、千種支部社協かわら版発行の趣旨です。

発刊は、旧町単位で行う予定です。なお、経費の関係で紙面はA3 1枚程度、発行は年2回程となりますが、読んで親しみがあり、そして元気の出る内容になればと考えています。どうぞよろしくお願いします。

地域や人と人との「つながりづくり」を大切に社協活動を推進します

社協が取り組む 介護予防事業

中学生とお達者クラブが交流

10組の調理ボランティアグループが活躍中

配食サービス

「こんにちは！おってか？お弁当持ってきたよ」と声をかけて、今日も配送ボランティアさんがお弁当を届けます。

平成2年から、高齢者の栄養改善と安否確認を兼ねて始まった給食サービスも早22年となり、65歳以上の一人・二人暮らしの方66名に現在利用いただいています。

お弁当は毎週火曜日と第3木曜日、保健福祉センターで調理ボランティアさん（お米や野菜をいただくことも）が、食べやすく工夫しながら心を込めて調理し、一言添えたお手紙を付けて完成です。

次は配送ボランティアさんへバトンタッチ。利用者さんから「毎週楽しみにしてます」の声。配送ボランティアさんからは「今日も元気にしとってでした」と聞く事が私たちスタッフの喜びでもあります。

（小原志のぶ）

今日はどこへ届けるんじゃ？「調理」から「配送」へボランティアさんがバトンタッチ

お達者クラブ

「忙しゅうてもお達者だけは楽しみにしとるでな。皆に出会うて、また一カ月分笑うて帰るわな。わははは♡」

いつも笑顔で参加いただく皆さんと出会え、職員の方が元気をもらっています。

「お達者クラブ」とは、宍粟市の委託を受け行っている介護予防事業です。保健福祉センターや各公民館で、閉じこもりや生活機能の低下を防ぐことを目的に、送迎・健康チェック、講話やレクリエーションなどを実施しています。

昔話をしても懐かしい歌を歌っても、色々なエピソードが飛び交って大笑いし、時には体操をしながら、想像以上に動かない体に苦笑いしたりと、毎回笑顔が絶えません。

いつまでも自分らしい毎日を送るために、一緒に『笑いの輪』の中へいかがですか。

お待ちしております。

（富田裕子）

「♪うーらーめーしーや～おもてパン屋～」体をほぐして今から体操！